



『竹山小学校』が開校しました。『合言葉は失敗 OK』

令和6年4月8日(月)丹波市立竹山小学校が開校いたしました。校長の足立和宏と申します。HPの校長室からを通して、竹田地区・前山地区の皆様・児童136名の保護者・ご家族の皆様に子どもたちや学校の様子をお伝えできれば考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



開校式にお越しいただきましたご来賓の皆様、保護者・地域の皆様、また閉校式に引き続き開校式を挙行いただきました丹波市並びに丹波市教育委員会の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

開校式では子どもたちに向けて以下のような話をさせていただきました。

みなさんの中には、昔、「竹山中学校」という学校があったのを聞いたことがある子もいると思います。昭和22年、今から70年以上も前の話です。竹山中学校は市島中学校となるまでの約25年間、竹田地区・前山地区の中学生が学んだ学校でした。その当時は今のように車もたくさん走っていたり、道路もきれいに整備されていたりしている時代ではありません。

「竹山中学校」を作るにあたって、人々は、竹田地区からも前山地区からも通えるようにと中学校の場所を決め、場所が決まれば、校舎を建てるために、大阪や京都の中学校の建物を観に行き、こんな教室があればいいなとか専門的な勉強をするためには、理科室や家庭科室などの特別教室が必要だとか、何度も話し合い、完成した校舎は、文部大臣から優良施設校として表彰を受けるほどでした。

また、運動場は、草や木で覆われていたところを保護者や地域のみなさんが総出で整備をされ、広い見事な運動場が出来上がったそうです。

竹山中学校があった場所は、今は、こかべ台団地として、多くの方々が暮らしておられます。

同じ「竹山」の名を受け継いだ『竹山小学校』も、「竹山中学校」と同じように、保護者・地域のみなさんが、ここで学ぶ子どもたちのことを一生懸命考えて、何年もの間、何度も何度も話し合いを重ね、今日という日を迎えていることを、忘れないでほしいと思います。

さあ、今日から始まる『竹山小学校』が、誰もが楽しいと思う学校にするのは、みなさん自身にかかっています。学校は先生やお家の人楽しくしてもらうところではありません。みなさんが自分たちで考えて、楽しくしていくところなんです。

この学校の主人公は明日入学する新1年生を含めた136名の子どもたちです。

先生方や、ここにいる大人たちは、みなさんをサポートしていきます。

新しい学校で、初めてのことをするので、プレ登校の時と同じように『失敗OK』です。「どンドン失敗できる。失敗したってやり直せる」そんな学校が校長先生はステキな学校だと思うんです。

みんなでいろんなことに挑戦して、『竹山小学校』を創り上げていきましょう。

昨年度実施した合同授業の取組の中で、先生方が「こんな学校にしたい」というイメージを新6年生の子たちと共有してくれていたことから、児童代表の言葉にも力強さを感じました。

もしかすると新しい事や慣れない事もあり、うまくいかないこともあるかもしれませんが、でも、そんな時こそ、みんなで協力し、声をかけ合いながら、温かい竹山小学校を作っていきたいと思います。「失敗OK!」を合言葉に、みんなが「やりたい」と思う事をみんなの力で実現できる学校にしていきたいです。

私たちがいつも見守ってくれる家族、先生、そして地域の方々に感謝をしながら、竹田小学校と前山小学校、両方の良さが活きた、新たな伝統を私たち、竹山っ子の力で築いていきます。



校歌を作詞者・作曲者の方にも来校いただき、子どもたちと地域のコーラスグループの方々が歌う「竹山小学校校歌」をお聞きいただきました。子どもたちも力いっぱい歌っていたと感じました。



入学式では23名の1年生を迎え、全校生136名の子どもたちが、児童の言葉にもあるように『みんなが「やりたい」と思う事をみんなの力で実現できる学校にしていきたい』と思

います。入学式の式辞では保護者の皆様に以下のお話をさせて頂きました。

昨年度、両校の保護者の皆様に、「統合に際して保護者の役割とは何だろう」とグループに分かれてお話しいただきました。

その中で出て意見を紹介いたします。「子どもの話をしっかり聞いてやること。」「早寝早起き朝ごはんなどの家庭でしかできない生活習慣をきちんと身につけさせること」そして、「参観日などにも積極的に参加して、保護者同士が顔見知りになり、仲良くなること」「先生方ともなんでも相談できる仲になり、困ったことがあれば相談すること」とお話しいただきました。

ご意見にもあったように、学校とご家庭は、お子様を真ん中におき、よりよい方向へと導くパートナーでありたいと考えています。

ご家族・保護者同士・先生方との「対話」を大切に、喜びも、そして、困ったときや悩んだ時こそ分かち合える関係でありたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



地域・保護者・関係機関の皆様、どうぞ今後の本校の教育活動への一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。